



学校だより

1月号

令和3年1月8日

まちのみんなひとつになあれ

年のはじめに

校長 堀野 由里

新型コロナウイルス感染症の状況がとても心配された年末年始となりましたが、保護者の皆様、地域の皆様には、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。今年も、子どもたちが安心して、健やかに成長できますよう、教職員一同、力を合わせて取り組んで参ります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は、学校が再開されてからも通常の教育活動を行うことが難しい状況となりました。安全に安心して学校で過ごしたり、各行事を実施したりするために、相武山として、どんな内容や方法で行うことがよいのか、その都度最善だと思われることを検討しながら進めてきました。保護者の皆様のご協力や地域の皆様の温かい応援で、何とか乗り切って進めてくることができました。しばらくは例年どおりにはならない状況が続きますが、前向きにできることに一生懸命取り組む子どもたちの様子に力をもらいながら、一つ一つ考えて進めていきたいと思えます。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

さて新年を迎え、教室では子どもたちが、今年の抱負や目標を考えています。年のはじめのこの節目に、この厳しい状況だからこそ、夢や目標を言葉にして表してほしいと思えます。6年生は4月に中学校に進学しますし、他の学年の子どもたちもそれぞれ進級する年のはじめです。今年の抱負や目標など自分が思っていることや願っていることを、ただ感じるだけでなく、言葉にして表すことは大切なことです。そしてさらに、その目標や願いは、この後自分の体験や行動との往復で、さらに磨かれて着実に自分の成長につながっていきます。

昨年4月から実施している新学習指導要領でも、学習活動を通してそれまでの自分、できるようになった自分を振り返り、これからの自分に見通しをもって粘り強く取り組んだり、新しく目標をもって次につないでいったりする過程を大切にしています。思いや願い、疑問は言語化することで明確になり、考えたり、人に問いかけたり、人の意見を聞いたりすることでさらに深まっていきます。初めは難しくとも具体的に言葉で表すことを大切に、積み重ねていきたいです。

各学年では書初めが行われています。今年も体育館で学年そろって行うことが難しく、また教室ではスペースがないため、教室では書初め用ではなく通常の半紙で書初めを行います。廊下には冬休みに家庭で書初めをしたものを掲示しています。「新しい風」「将来の夢」「明るい心」「友だち」・・・。新年への思いを新たに、目標をもつ年のはじめにしたいと思えます。